

平成 25 年度

牛乳・乳製品の消費動向に関する調査

報告書

【要約編】



独立行政法人農畜産業振興機構

目次

調査概要.....	1
調査結果.....	4
I. 白もの牛乳類の飲用実態.....	5
1. 白もの牛乳類の飲用頻度.....	5
2. 白もの牛乳類の飲用量.....	6
3. 白もの牛乳類の飲み方.....	7
4. 白もの牛乳類の飲用シーン.....	8
5. 白もの牛乳類の飲用理由.....	9
II. 白もの牛乳類飲用量の変化に関する意識.....	10
III. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因.....	11
IV. 白もの牛乳類の購入実態.....	12
V. いろいろな飲み物と牛乳.....	14
VI 白もの牛乳類を使った料理の実態白もの牛乳類の購入実態.....	15
VII. 乳製品の飲食実態と意識.....	16
1. ヨーグルトの飲食頻度とタイプ.....	16
2. チーズの食べ方と購入タイプ.....	17
3. チーズ購入の意識.....	18
VIII. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識.....	19
IX. 今後の飲用拡大に向けての考察.....	21
調査票.....	23

調査概要

調査概要

1. 調査目的

近年の飲用牛乳などの消費が減少していることを踏まえ、酪農・乳業の安定的発展を図る観点から、飲用牛乳を中心とした消費拡大を推進することが必要である。

このため、全国（沖縄県を除く）の中学生から後期高齢者までの消費者を対象としてアンケート調査を実施し、牛乳・乳製品の消費・購入・嗜好などに関する基本的な調査項目について、地域・年代などに偏りが生じないよう調査設計した

上で、消費構造の変化や消費動向を把握し、牛乳・乳製品の消費拡大に向けた取組みなどに役立つ情報を得ることとする。

調査結果については、基本的な調査項目に関してクロス集計、時系列集計などを用いて考察する。また、直近10年間（平成16年度～）のデータ（過去データは、機構から提供）と併せ、これからの我が国の人口動向、諸外国の消費動向などを考慮した上で、今後10年程度の牛乳・乳製品の長期的な消費動向などについて簡易に見通すとともに、誰がいつどのような食べ方で牛乳・乳製品を消費し、牛乳を飲まない人を含め、どのようにすれば牛乳・乳製品の消費拡大につながるかなどについて明らかにすることとする。

2. 調査方法

■留置併用訪問面接法により、本人が調査票に回答

3. 調査内容

- (1) 白もの牛乳類の飲用実態
- (2) この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化
- (3) 白もの牛乳類の購入実態
- (4) 好きな飲み物（嗜好性）
- (5) 乳製品の飲食実態
- (6) 白もの牛乳類に対する栄養意識・認識

4. 調査対象者

■全国の中学生以上の男女個人3200人（回収ベース）

5. 抽出方法(エリアサンプリング)

■平成22年国勢調査時の母集団人口に基づき、地域（9分類）と都市規模（5分類）により層化し、調査地点数を比例配分する。各層ごとに大字・町丁目の該当人口に応じて、調査地点を抽出する。各調査地点において、世帯（居住者のいる一般世帯住宅住戸）を系統抽出する。世帯から個人の抽出は、性・年齢別の割当に従って、訪問世帯において対象者条件に適合する個人を抽出した。

6. サンプル設計について

■消費動向調査では、平成19年度（2007年度）まで、地域（9分類）・都市規模（5分類）および性・年齢別の人口構成を反映したサンプル設計を行なってきた。そのため、若年層においては、回収サンプル数が少なく、性・年齢別の分析を行なうには十分ではなかった。

平成20年度（2008年度）から、性・年齢の層別にも十分な分析を行なえるよう、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てるクォータ法により調査を実施している。

7. ウェイト集計の実施

■本年度調査では、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てる方法を採用したため、回収サンプル構成は、母集団である平成22年国勢調査人口を反映していない。そのため、サンプルごとに人口構成に応じたウェイト値を与えて集計し、サンプル構成を補正した。本報告書で記載しているサンプル数は実際に回収されたサンプル数であるが、構成比（%）はウェイト集計後の値である。

8. 調査地域

■回収サンプルの地域別内訳は下記の通り（沖縄除く）。構成比はウェイト集計後の値を示す。

地域	回収数	構成比 (%)
北海道	128	4.0
東北	211	6.6
関東	1,246	38.9
東海	384	12.0
北陸	80	2.5
近畿	550	17.2
中国	193	6.0
四国	96	3.0
九州	312	9.8
計	3,200	100.0

都市規模	回収数	構成比 (%)
大都市	1,014	31.7
15万人以上	1,081	33.8
5～15万人未満	865	27.0
5万人未満の市	240	7.5
計	3,200	100.0

9. 調査期間

■平成25年（2013年）11月1日～11月30日

10. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

■この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。

■択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。

■「SA」の表記は単一回答、「MA」の表記は複数回答、「n」はサンプル数を示す。

■表示されているサンプル数は実際の回収サンプル数、構成比（%）はウェイト集計後の数値である。

■なお、図表および本文中の年度表記は西暦とした。

調査結果

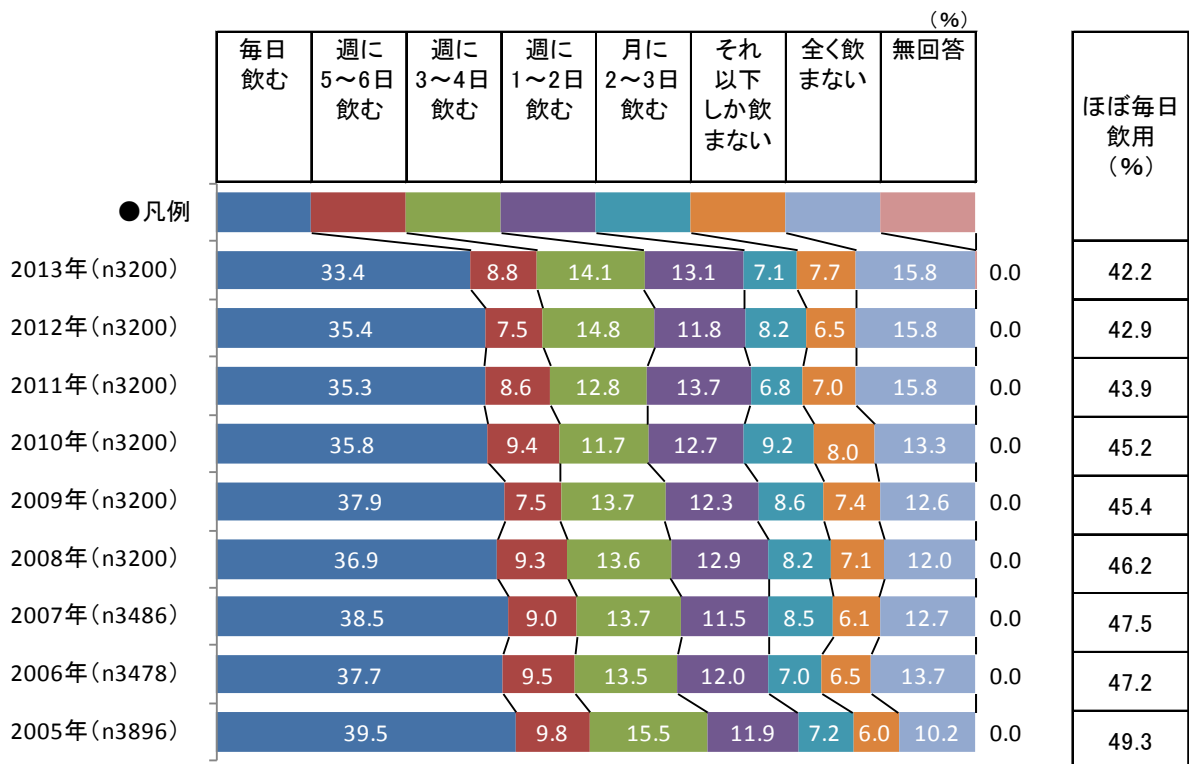
I. 白もの牛乳類の飲用実態

1. 白もの牛乳類の飲用頻度

～白もの牛乳類をほぼ毎日飲む人は 42%～

- 2013年の調査結果では、飲み方を問わず白もの牛乳類の飲む頻度を聞いたところ、「毎日飲む」と回答した人は33%います。「週に5～6日飲む人」を合わせると、中学生以上の42%が毎日飲んでいることとなります。「ほぼ毎日飲む」する人の割合は2005年以降、減少傾向が続いており、2013年も前年と同程度となりました。
- 「ほぼ毎日飲む」人の割合は、男女とも中学生で高く、それぞれ74%、71%です。男性の20～50代、女性の10代（中学生除）～30代では、性別の全体平均を下回っています。
- 2005年まで10%であった「全く飲まない」人の割合は、2006年に14%に増加し、2013年は16%まで拡大しました。

【図表 I-1-1】 時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)



【図表 I-1-2】 性・年代別 白もの牛乳類を飲む人の割合<ほぼ毎日飲む人>「毎日飲む」「週に5～6日飲む」の合計

	男性				女性			
	n	2012年(%)	n	2013年(%)	n	2012年(%)	n	2013年(%)
計	1600	38.5	1600	37.1	1600	47.3	1600	47.4
中学生	200	77.5	200	73.5	200	69.5	200	70.5
10代(中学生除く)	200	47.0	200	43.0	200	37.5	200	32.0
20代	200	27.3	200	31.3	200	30.5	200	26.5
30代	200	32.8	200	29.0	200	46.7	200	47.0
40代	200	39.5	200	28.4	200	48.3	200	53.1
50代	200	33.2	200	33.4	200	51.9	200	44.9
60代	200	34.3	200	40.0	200	48.3	200	49.6
70代以上	200	46.5	200	45.5	200	50.5	200	54.5

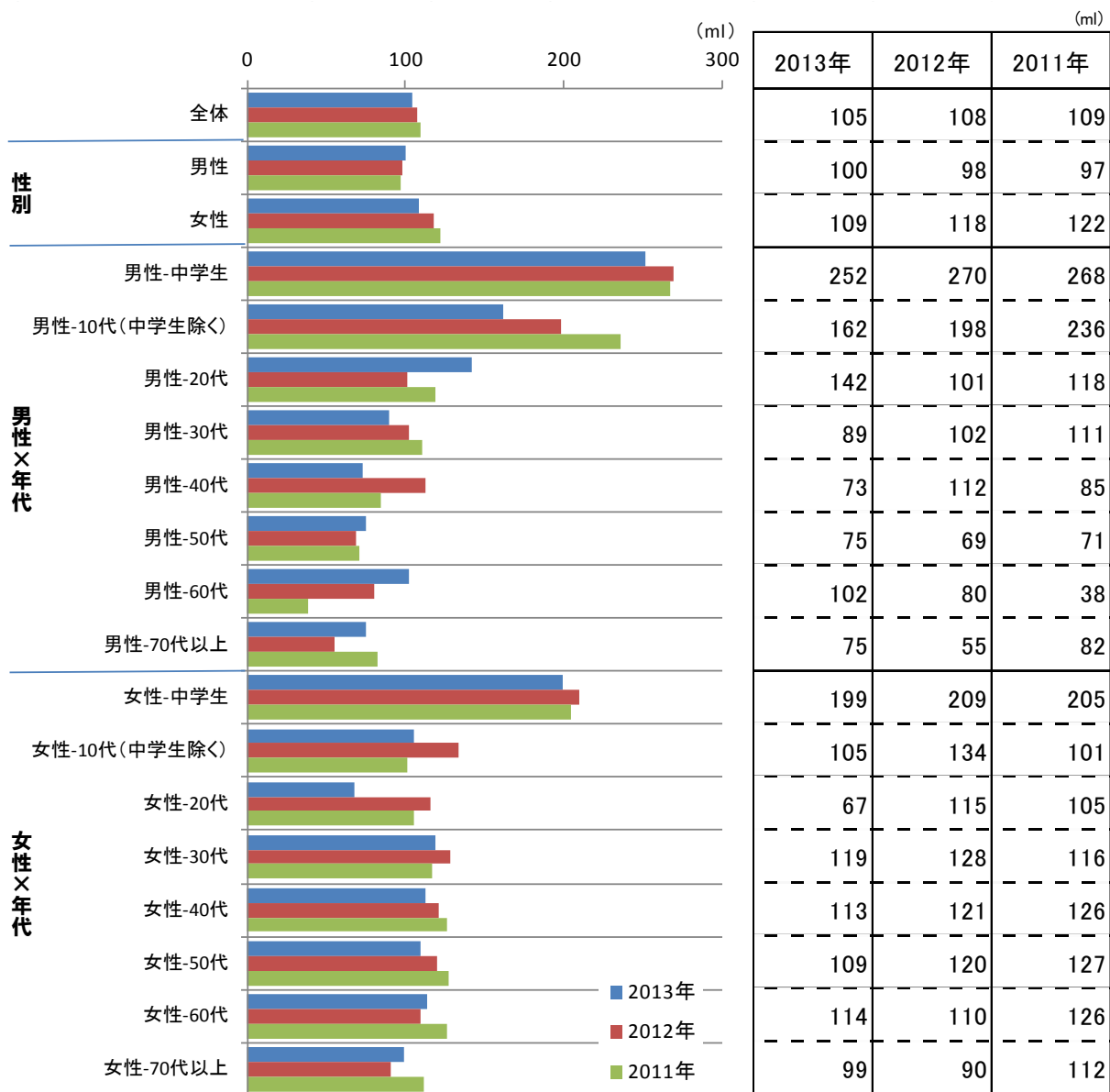
2. 白もの牛乳類の飲用量

～1日あたりの平均飲用量は、全体的に微減がつづいている～

■白もの牛乳類の1日あたりの飲用量(注)は、2013年の全体としては微減傾向が見られます。性別では、男性は微増、女性は微減しました。性年代別に見ると、男性は20代・50代以上で増加、女性では60代以上で増加傾向が見られます。一方、減少したのは、男性は、男子中学生・10代・30～40代、女性は、女子中学生性～50代である。

(注) 1日あたりの飲用量・・・白もの牛乳類を飲むと回答した者の1日当たりの飲用量の合計を、総回答者数(非飲用者含む)で除して算出した、1人当たりの平均量

【図表 I-2-1】性・年代別 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量(年間平均・SA) <全体ベース>



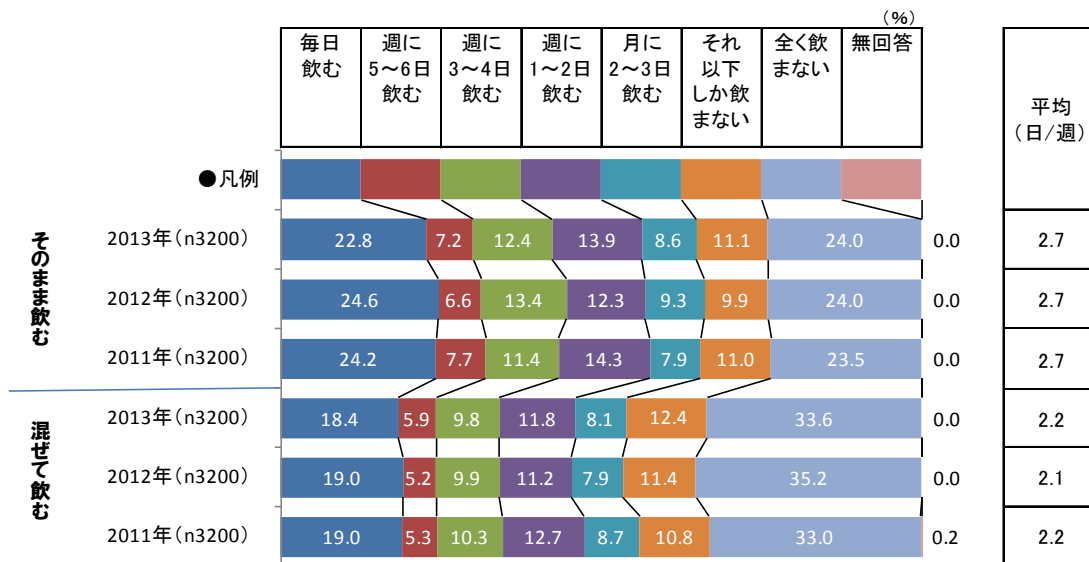
3. 白もの牛乳類の飲み方

～白もの牛乳類の飲み方に、大きな変化は見られない～

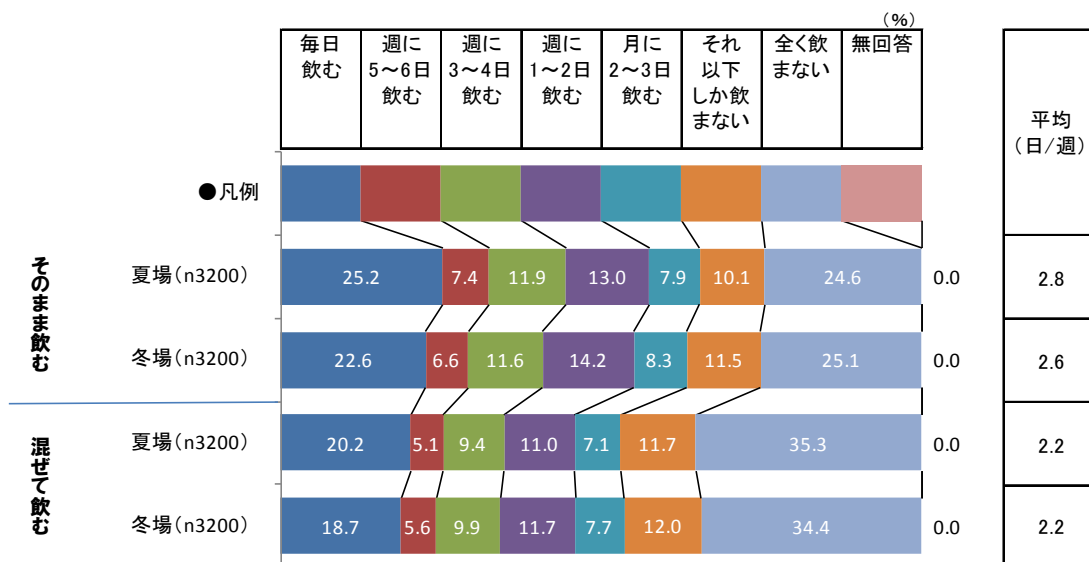
■白もの牛乳類の飲み方は、「そのまま飲む」飲み方で「毎日飲む」人の割合は23%、「他のものと混ぜて飲む」飲み方で「毎日飲む」人の割合は18%となっています。過去3年間の変化を飲み方別に見ると、「そのまま飲む」「他のものと混ぜて飲む」でともに平均回数に大きな変化は見られません。

■夏場と冬場の飲用頻度を比べると、「そのまま飲む」飲み方は、「他のものと混ぜて飲む」飲み方より、季節による変動が大きいことがわかります。

【図表 I-3-1】 時系列 問2・3 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)



【図表 I-3-2】 季節変動 問2・3 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)



【図表 I-3-3】 白もの牛乳類を他のものと混ぜて「毎日飲む」飲用者率 (年間平均)

	計	中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
男性	14.4	11.5	10.5	10.9	16.1	14.3	15.1	16.2	14.5
女性	22.4	13.0	10.5	10.1	26.4	33.9	26.1	21.7	20.5

(男性計/女性計はそれぞれn=1600、それ以外はいずれもn=200) (%)

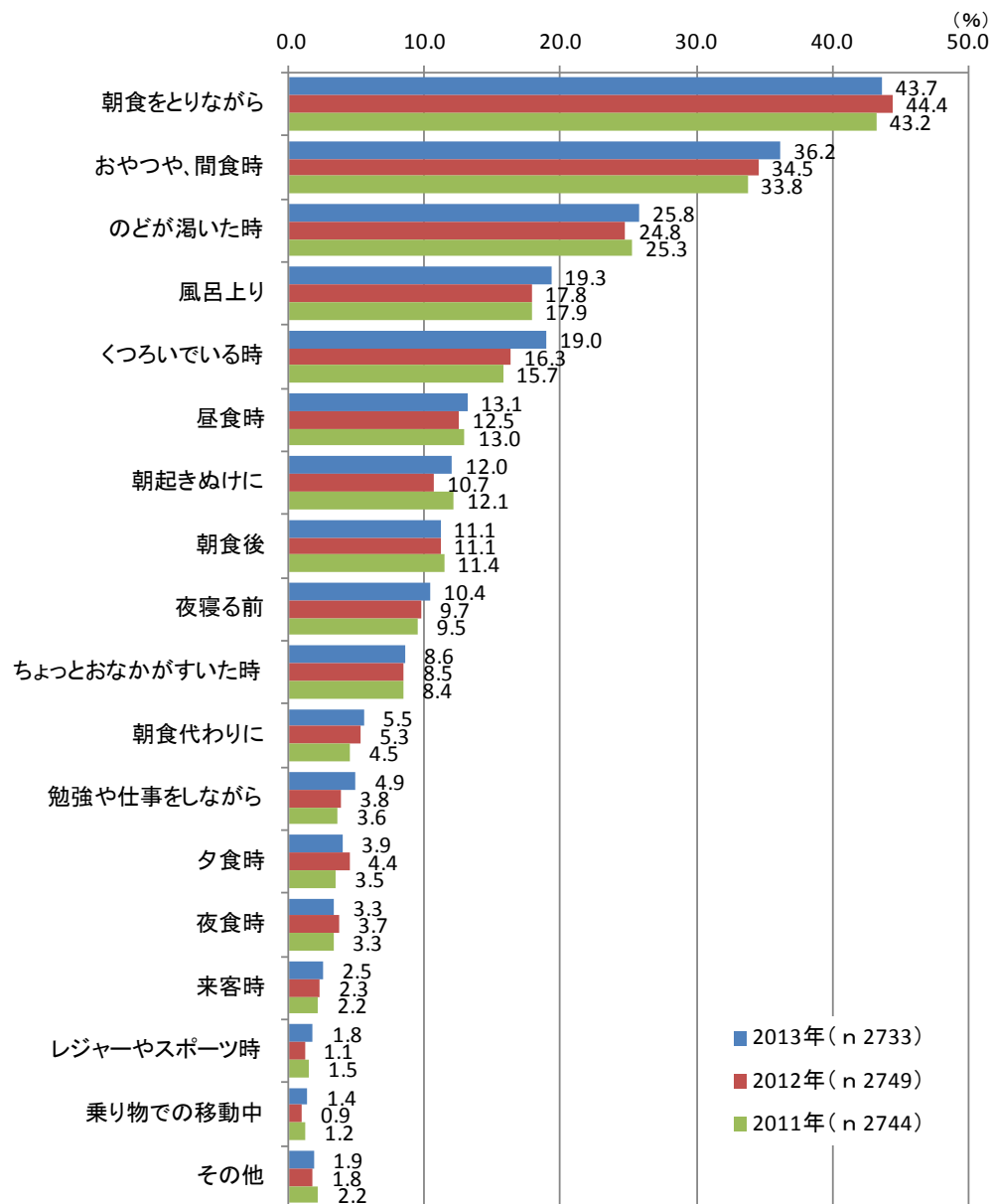
4. 白もの牛乳類の飲用シーン

～飲用シーンのトップは「朝食をとりながら(44%)」～

■白もの牛乳類を飲むシーンで多いのは、「朝食をとりながら」「おやつや間食時」「のどが渴いたとき」であり、特に「朝食をとりながら」は44%となっています。

■時系列比較では、大きな変化は見られず、飲用シーンの上位は前述の3項目で固定化されている。ただし、「おやつや間食時」が若干ではあるが、微増しています。

【図表 I-4】時系列 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>



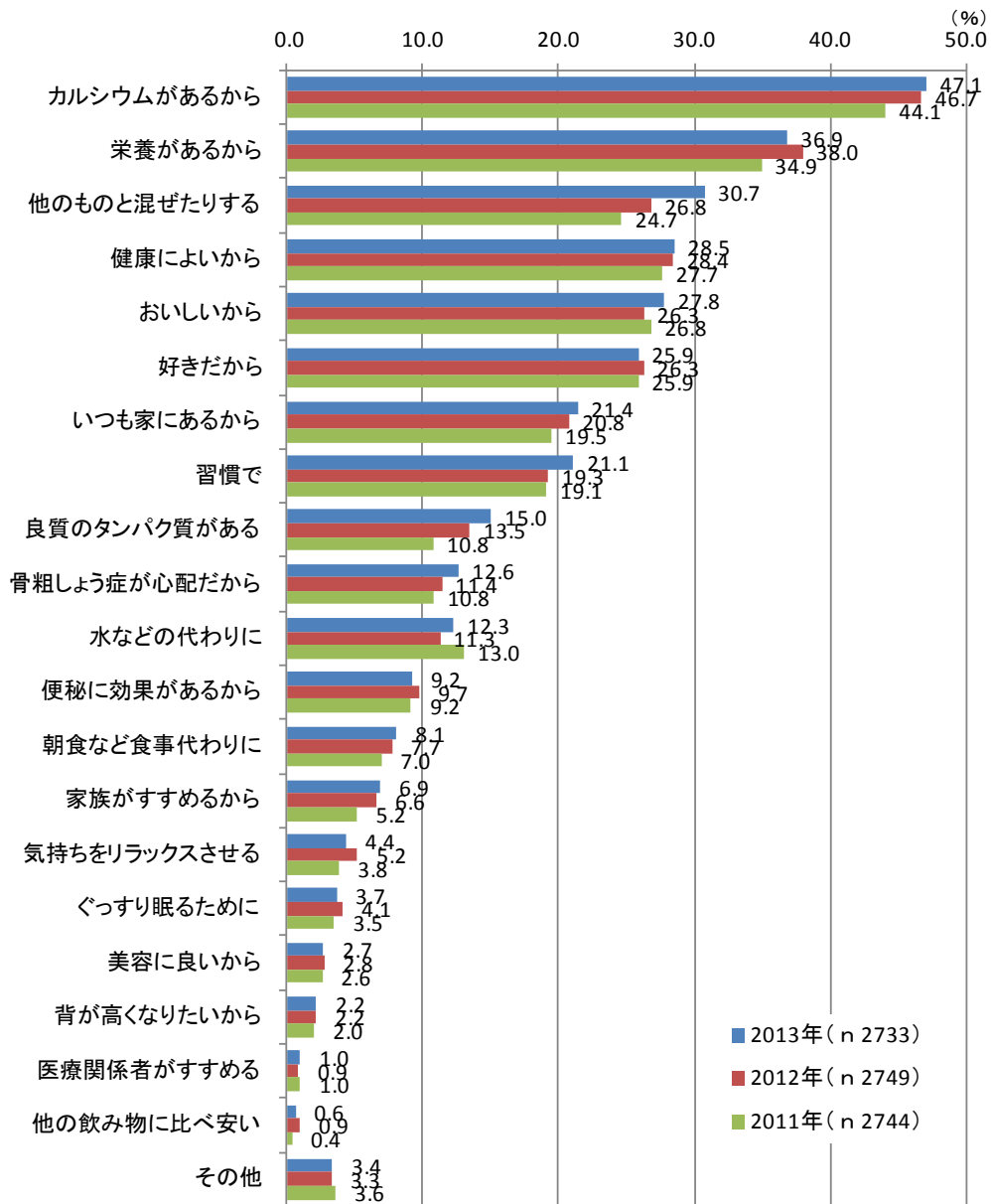
5. 白もの牛乳類の飲用理由

～「カルシウム」等の健康関連の他に、「他のものと混ぜる」が、飲用理由の上位にランク。～

■ 白もの牛乳類を飲む理由で最も多いのは「カルシウムがあるから」で、2番目に「栄養があるから」が多く、3番目には「他のものと混ぜたりする」が続いています。

■ 3年間の時系列比較では、3番目の「他のものと混ぜたりする」が6ポイント増加しています。

【図表 I-5】時系列 問6 白もの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



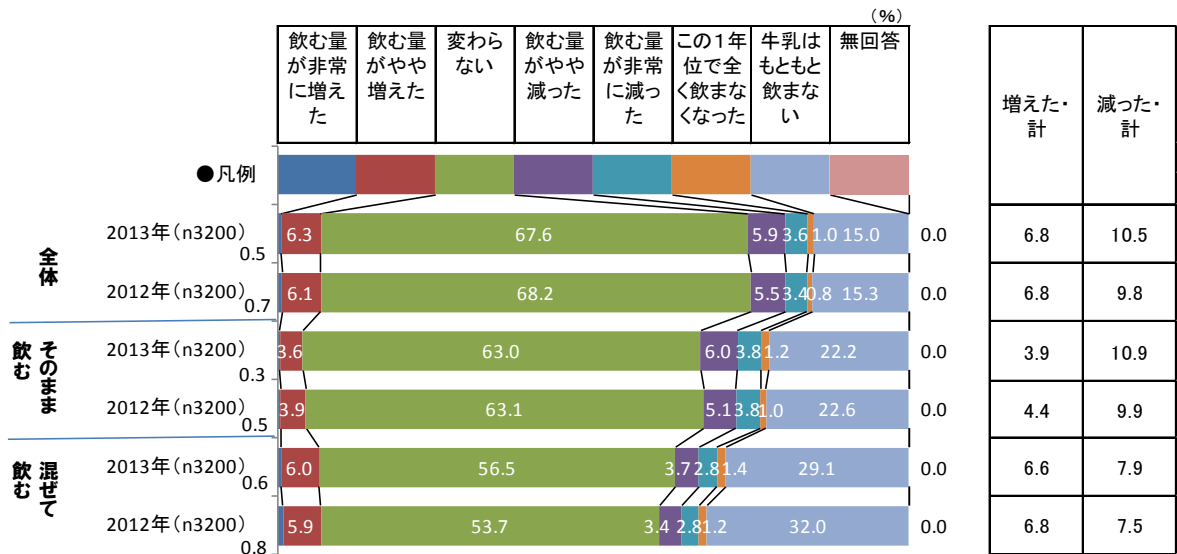
II. 白もの牛乳類飲用量の変化に関する意識

～この1年間に牛乳を飲む量が「減った」と感じる人は11%。「飲みたくない」は増加傾向～

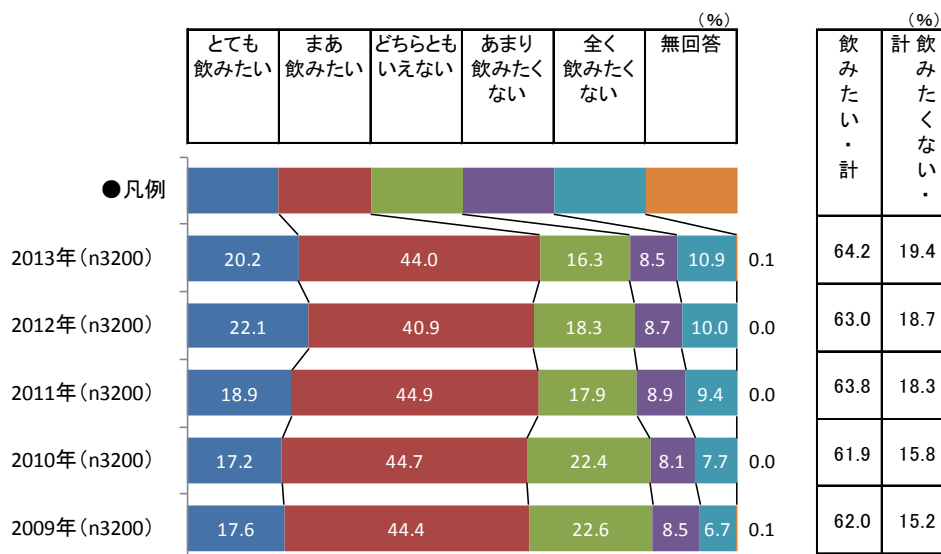
■この1年間に、そのまま飲む量が「増えた」と答えた人は4%、「減った」と答えた人が11%。一方、混ぜて飲む量は「増えた」と答えた人が7%、「減った」と答えた人が8%。前回の2012年と同様にいずれの飲み方でも「減った」人が「増えた」人をわずかに上回り、全体の飲用量についても、「減った」と答えた人（11%）が「増えた」と答えた人（7%）を上回っています。

■今後の飲用については、全体の64%が飲みたい（「とても飲みたい」「まあ飲みたい」の合計）という意向を示しており、飲みたくないという人（「全く飲みたくない」「飲みたくない」の合計）は19%見られます。2009年からの推移で見ますと、「飲みたくない」の合計が増加している点が懸念されます。

【図表II-1】 時系列 問7 この1年間の白もの牛乳類の飲用量の増減（SA）



【図表II-2】 時系列 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）

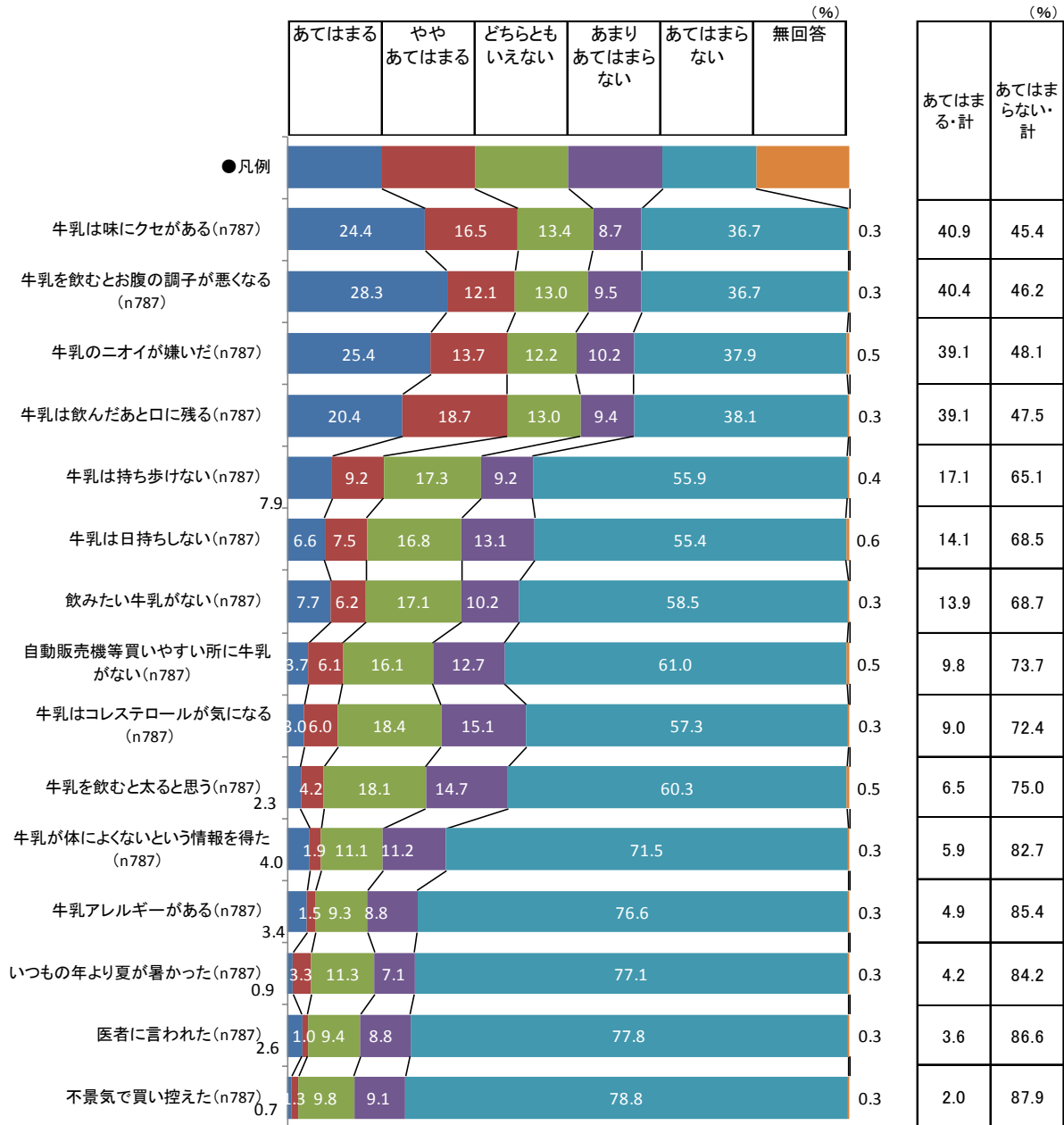


Ⅲ. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因

～牛乳を飲まない理由は、「味にクセ」「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」において「飲用後、口に残る」等～

■白もの牛乳類の飲用量が減少した、あるいはもともと飲まない理由では、「牛乳は味にクセがある (41%)」「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる (40%)」「牛乳のにおいが嫌い (39%)」「牛乳は飲んだあと口に残る (39%)」の順となっています。これら4つが、牛乳の飲用を阻害する大きな理由となっています。

【図表Ⅲ-1】 問8 飲用量減少・非飲用理由 (SA) <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



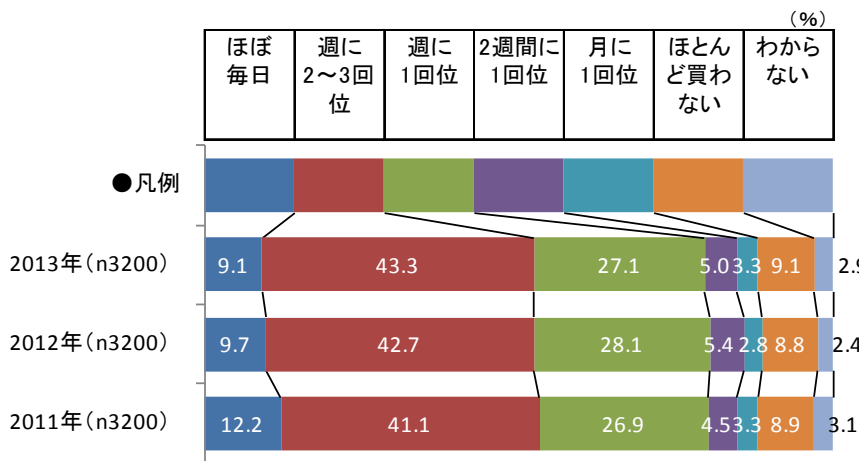
IV. 白もの牛乳類の購入実態

～週に2～3回位購入する人が43%。1週間の購入量は平均2.4リットル～

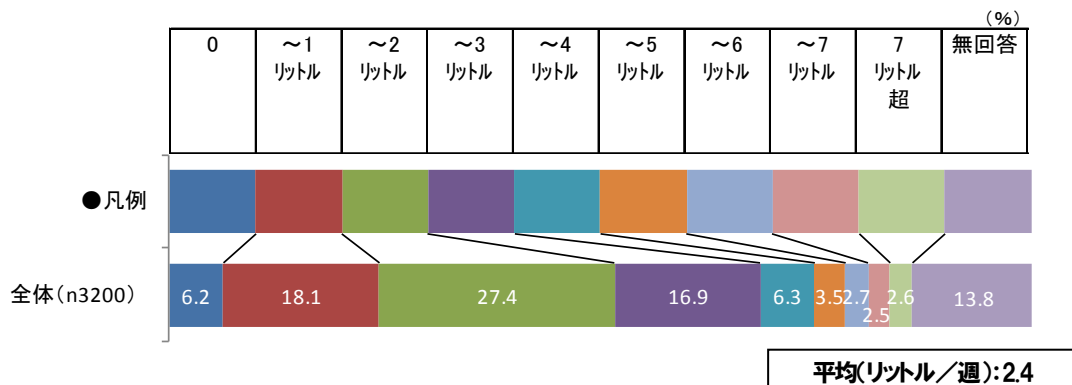
■白もの牛乳の購入頻度は、「週に2～3回位」が43%、「週に1回位」が27%です。1週間の購入量は1リットル以下が24%、1リットル超2リットル以下が27%で、平均2.4リットルとなっています。

■白もの牛乳類を自分で購入する人の85%が、この1年間に買い方は「これまでと変わらない」と答えており、普段主に購入しているものは「生乳100%の普通牛乳」が72%を占めています。

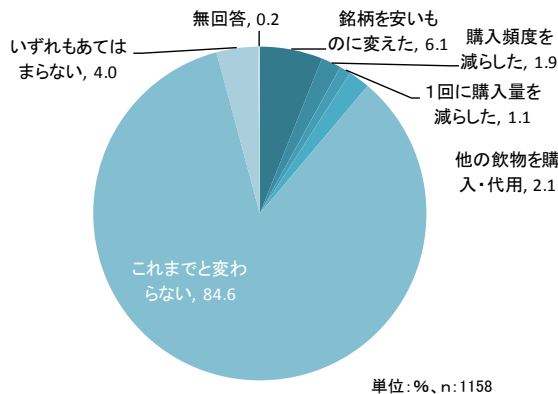
【図表IV-1-1】時系列 問10 白もの牛乳類を購入する頻度 (SA)



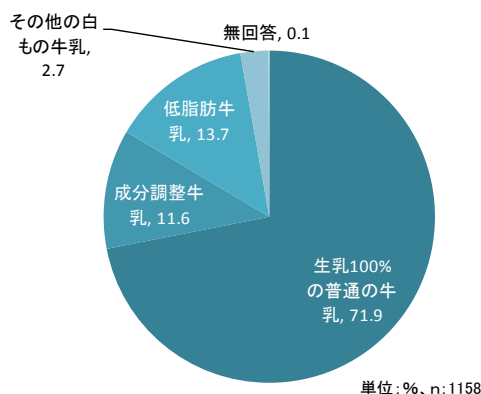
【図表IV-1-2】全体 問11 一週間の白もの牛乳類の購入量 (SA)



【図表IV-1-3】全体 問13 白もの牛乳の買い方は変わった (SA)

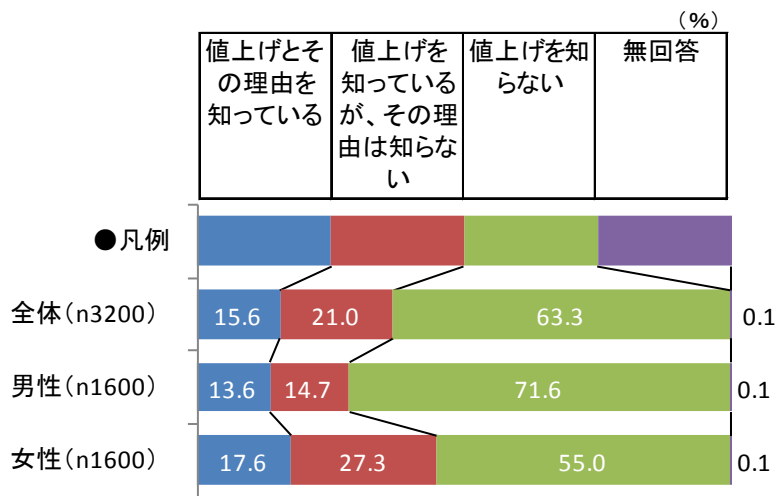


【図表IV-1-4】全体 問14 普段購入している白もの牛乳 (SA)

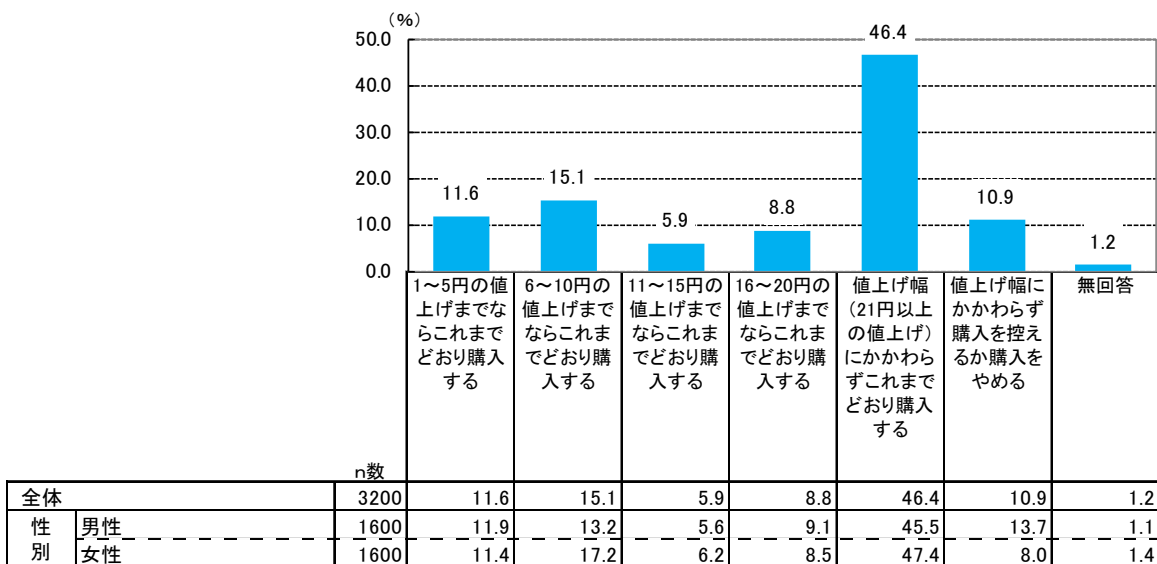


- 平成 25 年 10 月からの牛乳販売価格の値上げについては、37%の人が認知しています（値上げとその理由を知っている+値上げを知っているが、その理由は知らない）。特に、女性の方の認知度が高いようです。
- 値上げになった場合の購入意向（1 リットルパックの場合）をたずねると、9割の人が「これまで通り購入する」と回答しています。ただし、内訳を見ると、「1～5 円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が 12%、「6～10 円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が 15%、「11～15 円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が 6%、「16～20 円の値上げまでならこれまでどおり購入する」が 9%、「値上げ幅（21 円以上の値上げ）にかかわらずこれまでどおり購入する」が 46%となっています。10 円以下の値上げでも、27%が購入をやめる可能性があります。
- 乳価引上げに伴う、牛乳販売価格の値上げに加えて、2014 年度は消費税も増税される。消費者の購入意向については、今後も慎重に推移を見守る必要がある。

【図表IV-1-5】全体 問16-1 値上げの認知度（SA）



【図表IV-1-6】全体 問16-2 値上げになった場合の購入意向（SA）



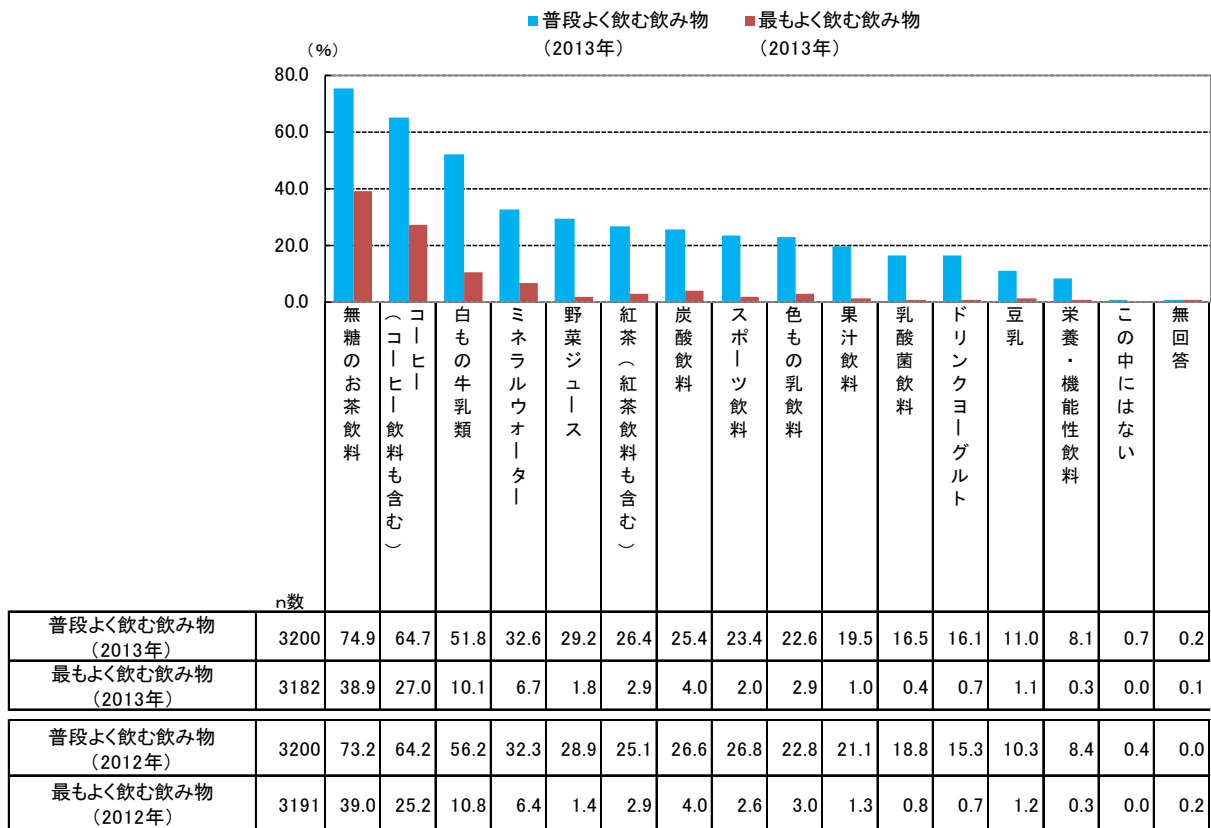
V. いろいろな飲み物と牛乳

～ふだんよく飲む飲み物は「無糖のお茶飲料」、次いで「コーヒー」「白もの牛乳類」が続く～

■ふだんよく飲む飲み物をいくつでもあげてもらったところ、最も多いのは「無糖のお茶飲料」の75%でした。次いで、「コーヒー」が65%、「白もの牛乳類」が52%と続いています。2012年と比べると、「白もの牛乳類」は4ポイント微減しました。

■ふだんよく飲む飲み物の中から最もよく飲むものをひとつだけ選んでもらった結果では、「無糖のお茶飲料」が39%、「コーヒー」が27%、「白もの牛乳類」が10%となっています。2012年と比べると、「白もの牛乳類」は変化が見られませんでした。

【図表V-1】 14種類の飲み物の中でよく飲むもの 問17 普段よく飲む (複数回答) / 問18 最もよく飲む (単数回答)

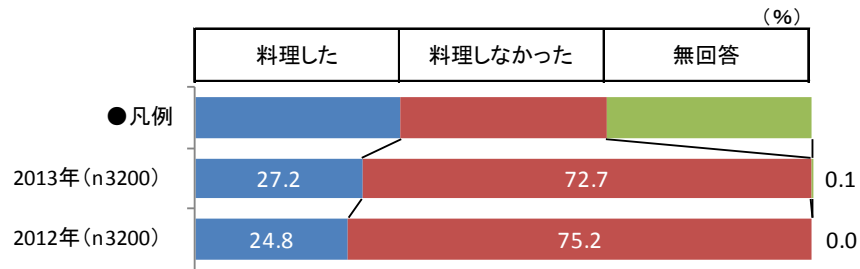


VI 白もの牛乳類を使った料理の実態 白もの牛乳類の購入実態

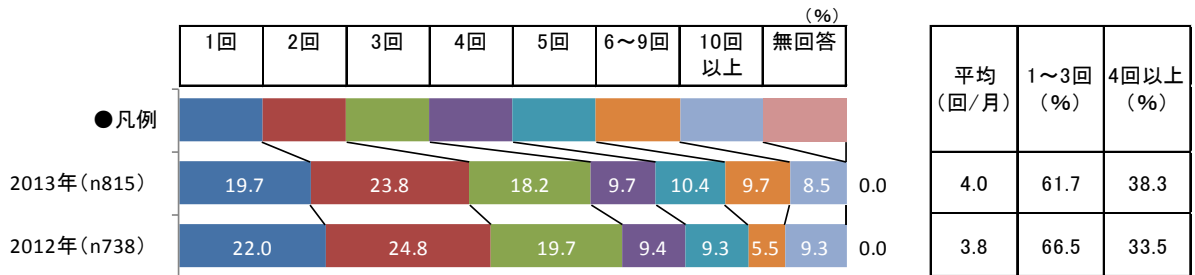
～白もの牛乳類を使った料理の1ヶ月間の実施率は27%、月平均4.0回～

- 調査時点の1ヶ月間（10～11月の間）に、白もの牛乳類を使って料理をした人は27%、料理の回数は平均4.0回、使用量は平均479.5mlとなっています。
- 2012年と比べると、料理をした人の割合、料理回数、料理での使用量は、いずれも増加しています。
- 料理のメニューは、2013年も「シチュー」がトップ。次いで、「ホットケーキ」「グラタン」が続いています。

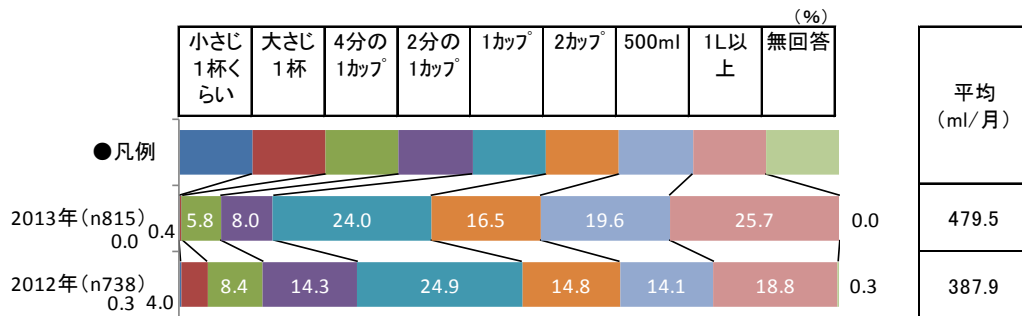
【図表VI-1-1】時系列 問19 この1ヶ月間の白もの牛乳類を使った料理行動（SA）



【図表VI-1-2】時系列 問19-1 白もの牛乳類の料理回数 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



【図表VI-1-3】時系列 問19-3 白もの牛乳類の料理使用量 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



【図表VI-1-4】時系列 問19-2 白もの牛乳を使った料理 <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

	シチュー	ホットケーキ	グラタン	スープ、ポタージュ	ハンバーグ	オムレツ、オムライス	フレンチトースト	カレー	ケーキ	パン	プリン	手作りヨーグルト	牛乳寒天	ゼリー	杏仁豆腐	その他
2013年 (n815)	74.1	34.4	31.3	26.0	20.2	18.1	17.7	17.3	8.2	6.0	5.5	4.5	4.2	1.9	1.6	6.4
2012年 (n738)	57.6	30.7	30.1	23.9	18.8	16.9	13.5	19.8	9.5	5.3	5.1	5.3	4.9	1.9	4.0	9.0

VII. 乳製品の飲食実態と意識

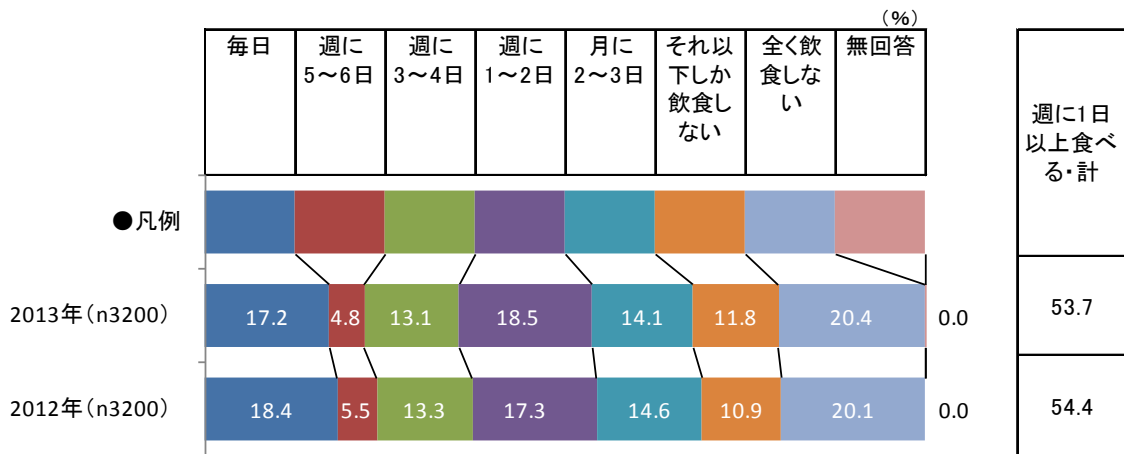
1. ヨーグルトの飲食頻度とタイプ

～ヨーグルトを毎日飲食する人は17%。タイプは「プレーンヨーグルト」が最も多い～

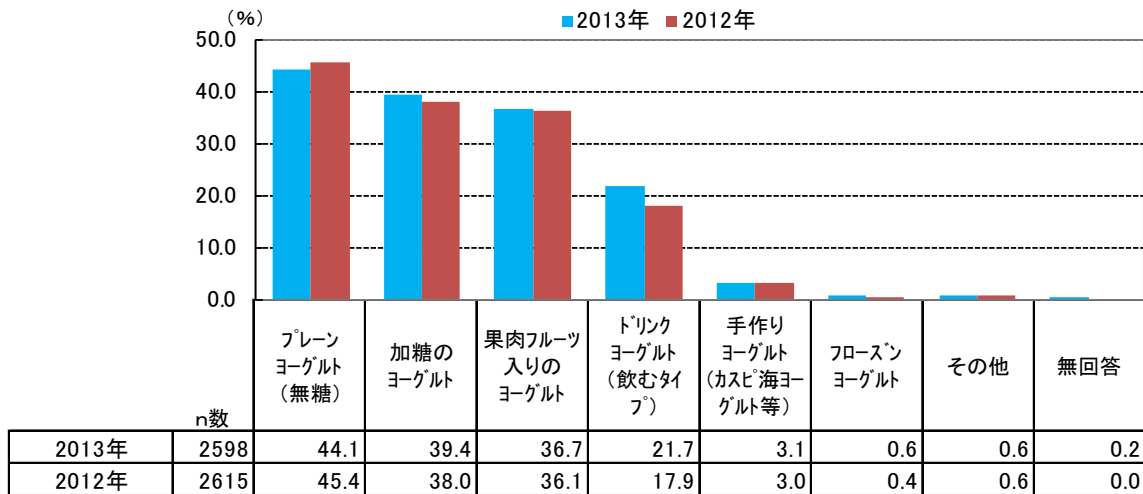
■ヨーグルトの飲食頻度は、「毎日食べたり飲んだりする」が17%で、「週に1～2日」以上ヨーグルトを食べたり飲んだりする人の割合は54%となっています。2012年から大きな変化はありませんでした。

■タイプ別では、「プレーンヨーグルト」が44%、「加糖のヨーグルト」が39%、「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が37%となっています。男性は、若年層の方が飲食量は多くなっています。

【図表VII-1-1】時系列 問20 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度



【図表VII-1-2】時系列 問22 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>



【図表VII-1-3】性・年齢別 問21 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量<ヨーグルト飲食者ベース>

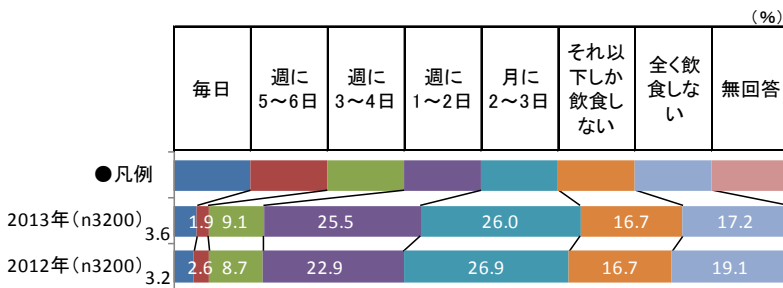
	(g/日)																		
				男性									女性						
	全体	男性計	女性計	中学生	10代(中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	中学生	10代(中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
2013年(n2598)	99	97	101	106	100	102	91	101	95	94	96	96	102	96	103	104	108	105	91
2012年(n2645)	100	99	101	105	114	101	101	105	96	92	89	99	105	97	105	102	103	102	97

2. チーズの食べ方と購入タイプ

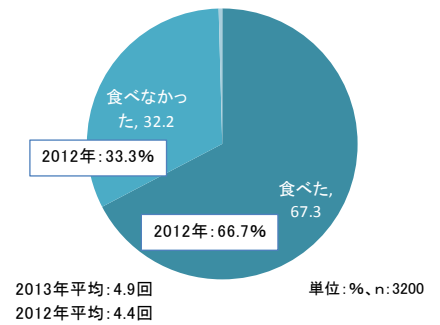
～チーズを週に1日以上食べる人は40%～

- チーズを「毎日」食べる人は4%で、週に1日以上食べる人が40%見られます。
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズを使った料理を食べた人は67%であり、食べた人の回数は平均4.9回、食べた料理で最も多いのは「ピザ(60%)」でした。2012年よりも食べた回数は増えています。
- ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いについて認知している人は、「知っている+何となく知っている」の計で48%となりました。購入するチーズの種類は、ナチュラル派が2割、プロセス派が5割、半々が1割となっています。チーズのタイプは「スライスチーズ」66%、「ブロックタイプ」50%、「シュレッドチーズ」37%の順となりました。

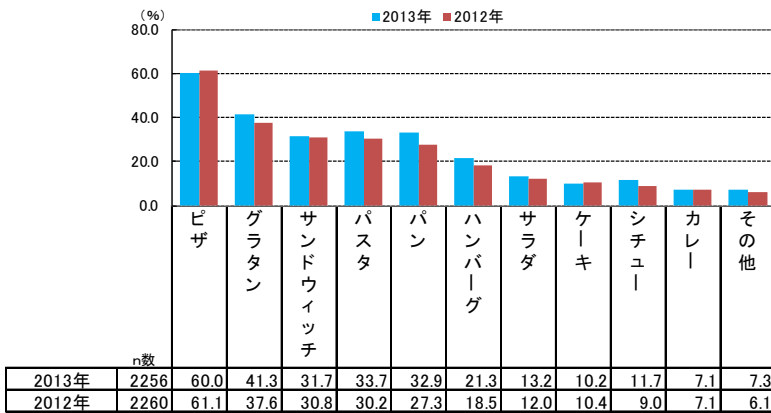
【図表VII-2-1】全体 問23 日頃チーズを食べる頻度 (SA)



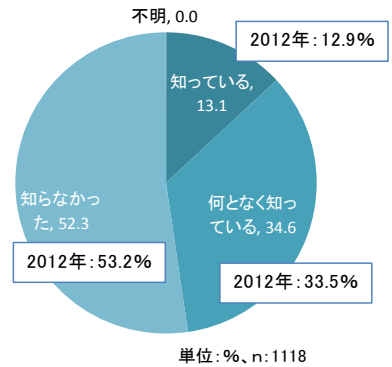
【図表VII-2-2】問25 この1ヶ月でチーズ料理を食べたか (SA)



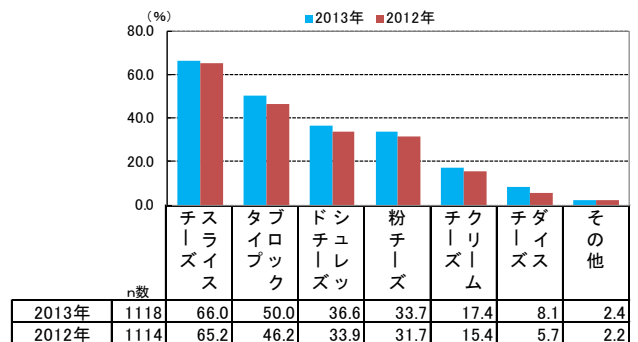
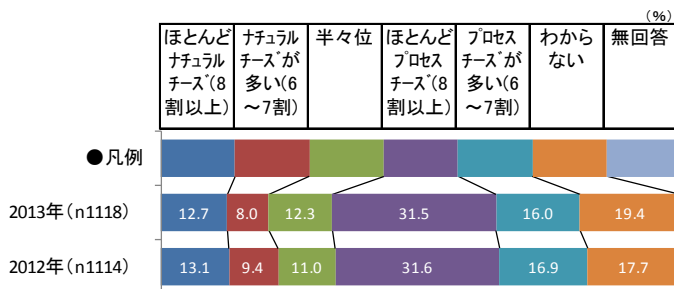
【図表VII-2-3】問25-2 この1ヶ月に食べたチーズ料理 (MA)



【図表VII-2-4】問27-2 ナチュラルチーズとプロセスチーズの違いの認知状況 (SA)



【図表VII-2-5】全体 問27-1・28 購入するチーズのタイプ<チーズ購入者ベース>



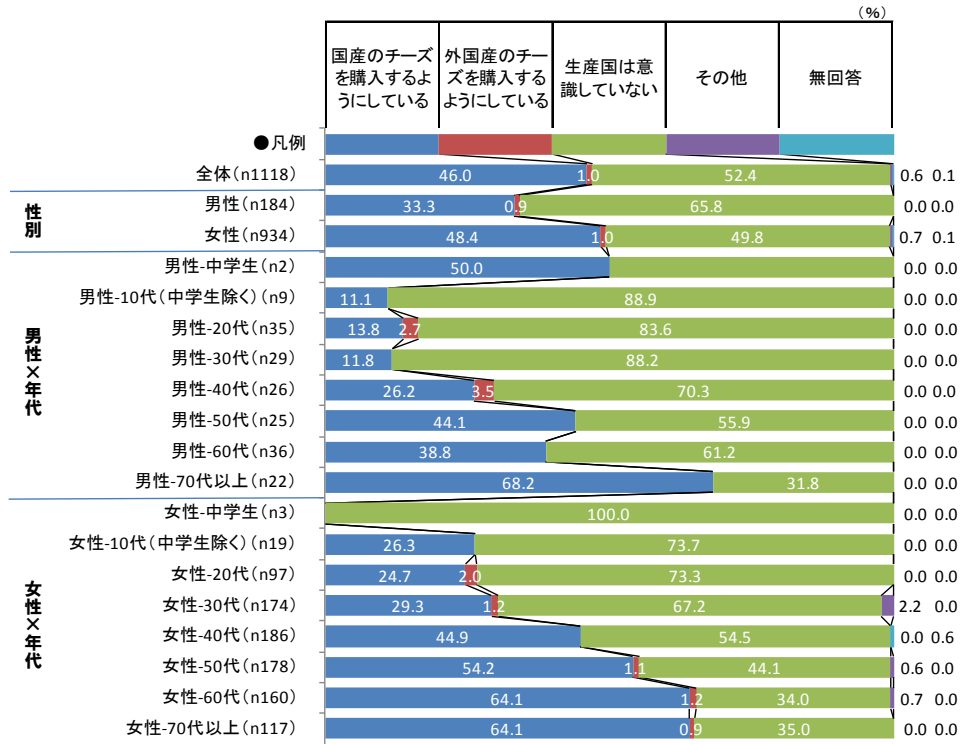
3. チーズ購入の意識

～国産チーズ派は46%を占める一方、産地を意識しない派も52%～

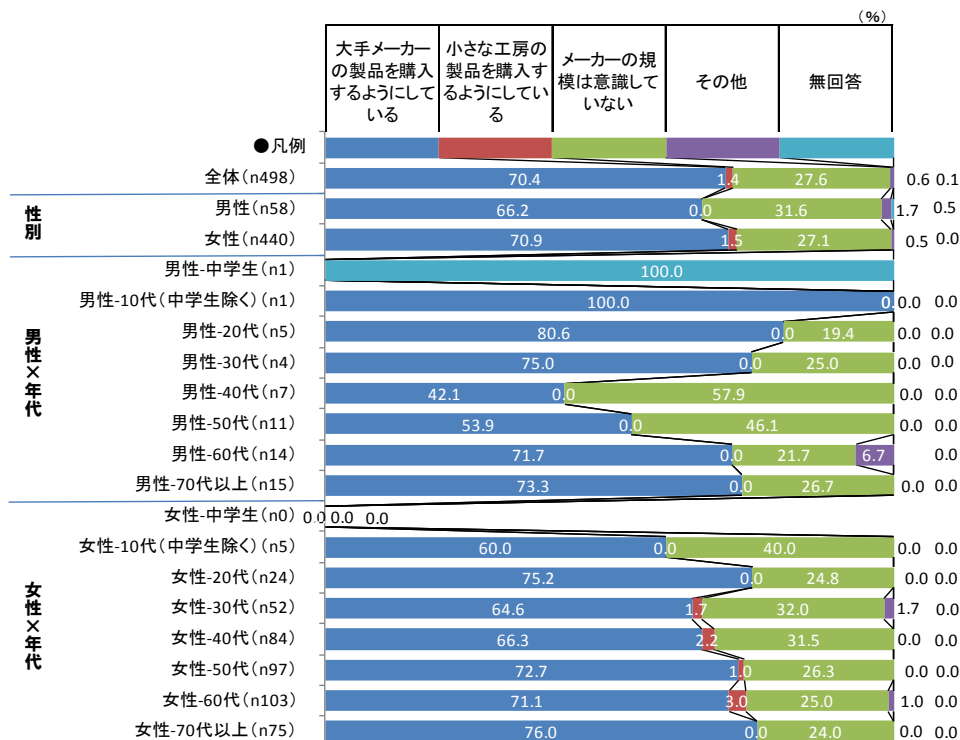
■ 普段チーズ購入時に意識することは、全体では「国産のチーズを購入するようにしている」が46%、「生産国は意識していない」が52%、「外国産のチーズを購入するようにしている」が1%となります。

■ 国産チーズ購入での意識は、全体で「大手メーカーの製品を購入するようにしている」が70%を占めます。

【図表VII-3-1】 性・年代別 問29 チーズ購入時の意識する事 (SA) <チーズ購入者ベース>



【図表VII-3-2】 性・年代別 問29-1 国産チーズ購入で意識する事 (SA) <国産チーズ購入者ベース>



Ⅷ. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識

～カルシウムに関連するニーズが高い。美肌やダイエットも訴求ポイントとして期待～

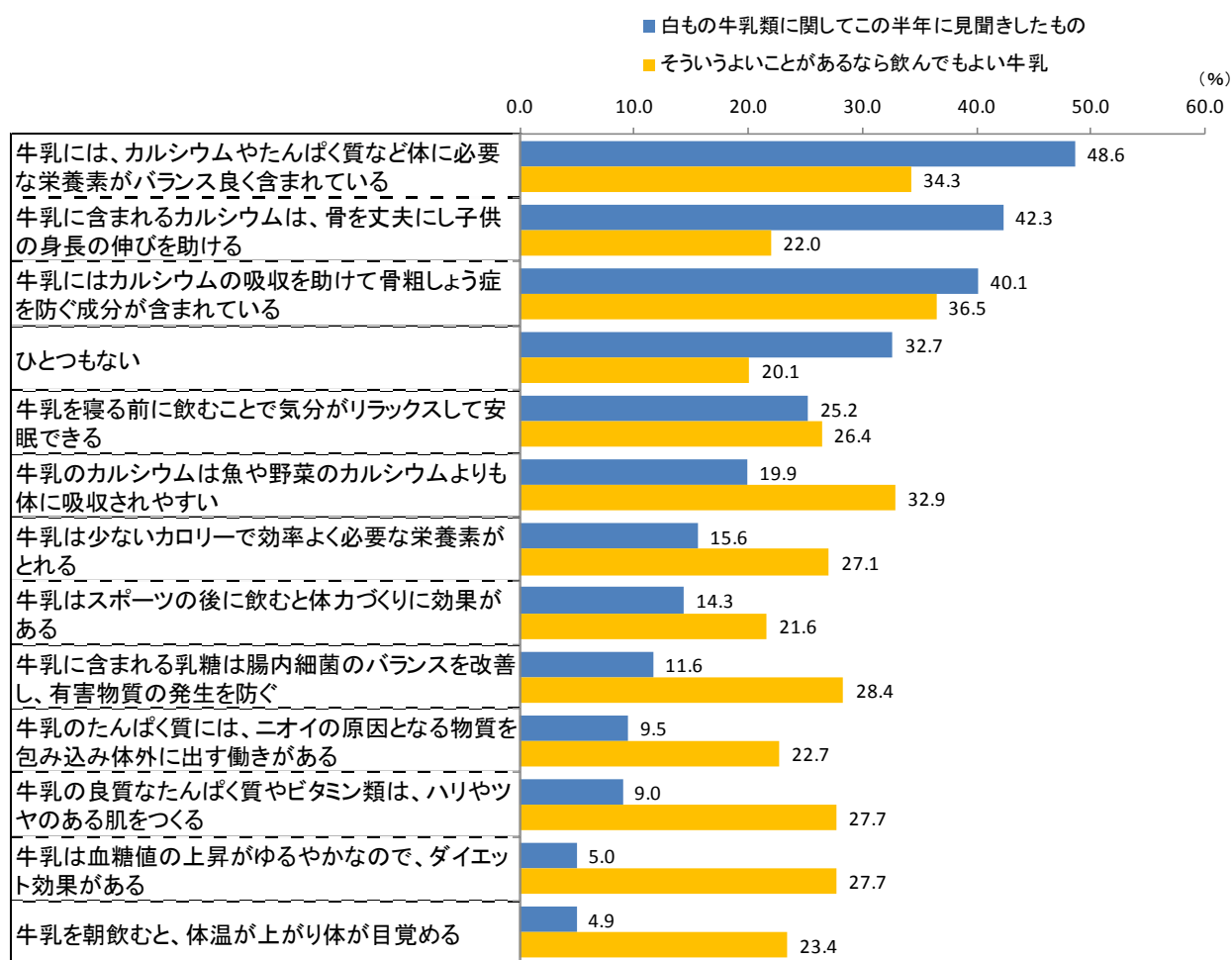
■「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳」について質問しました。

■見聞きしたことがあるものは、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が49%で最も多かったです。次いで、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子どもの身長伸びを助ける」が42%、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」がそれぞれ40%で続いています。

■「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものでは、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が37%と最も多く、次いで「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が34%、「牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい」が33%で続いています。全般的に、カルシウムに関連するニーズが高い様子がうかがえます。

■また、見聞されていないが、ニーズの高さがうかがえるものは、牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある」「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」「牛乳を朝飲むと、体温が上がって体が目覚める」といった効果にニーズがうかがえます。これらのベネフィットは、今後の牛乳普及の広報活動における訴求ポイントとして考えられます。

【図表Ⅷ-1】 問30 見聞きしたことがある白もの牛乳類のベネフィットとニーズ (MA)



n3200

- 牛乳類のベネフィットについて、性・年代別で見ると、男性は、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」「牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい」に関して、興味を持たれています。
- 一方、女性は、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」「牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい」「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」に関して、興味を持たれています。
- なお、女性40代は、「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」という、ベネフィットについて、興味を持たれています。

【図表Ⅷ-2】性別・女性40代 問30 見聞きしたことのある白もの牛乳類のベネフィットとニーズ (MA)

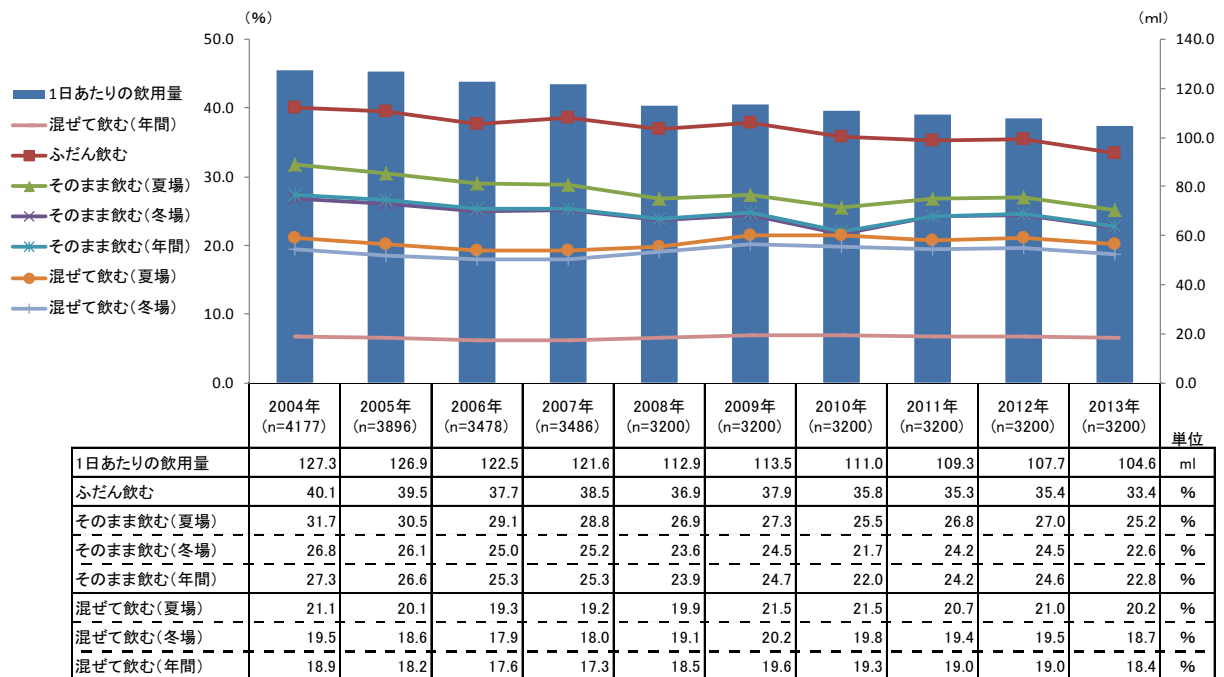
	(1)白もの牛乳類に関して、この半年に見聞きしたもの				(2)そういうよいことがあるなら、飲んでもよい牛乳			
	全体	男性	女性	女性-40代	全体	男性	女性	女性-40代
体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	48.6	45.3	51.9	46.6	34.3	32.1	36.4	36.5
牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長伸びを助ける	42.3	38.3	46.3	46.0	22.0	18.6	25.4	31.1
牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	40.1	34.8	45.5	44.9	36.5	29.0	43.9	43.1
牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる	25.2	19.5	30.9	35.6	26.4	23.9	29.0	26.7
牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい	19.9	18.5	21.3	21.5	32.9	28.9	36.9	41.8
牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる	15.6	14.7	16.4	11.5	27.1	23.9	30.3	32.5
牛乳はスポーツの後に飲むと体づくりにも効果がある	14.3	14.7	14.0	11.7	21.6	23.5	19.8	19.5
牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ	11.6	10.3	12.9	13.5	28.4	25.3	31.4	33.7
牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある	9.5	7.8	11.2	13.3	22.7	22.0	23.4	24.8
牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる	9.0	6.5	11.5	10.7	27.7	12.8	42.7	46.0
牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある	5.0	4.8	5.1	6.2	27.7	19.7	35.8	41.1
牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める	4.9	4.5	5.4	6.3	23.4	20.3	26.5	29.0
ひとつもない	32.7	37.1	28.2	29.8	20.1	24.6	15.5	12.9

IX. 今後の飲用拡大に向けての考察

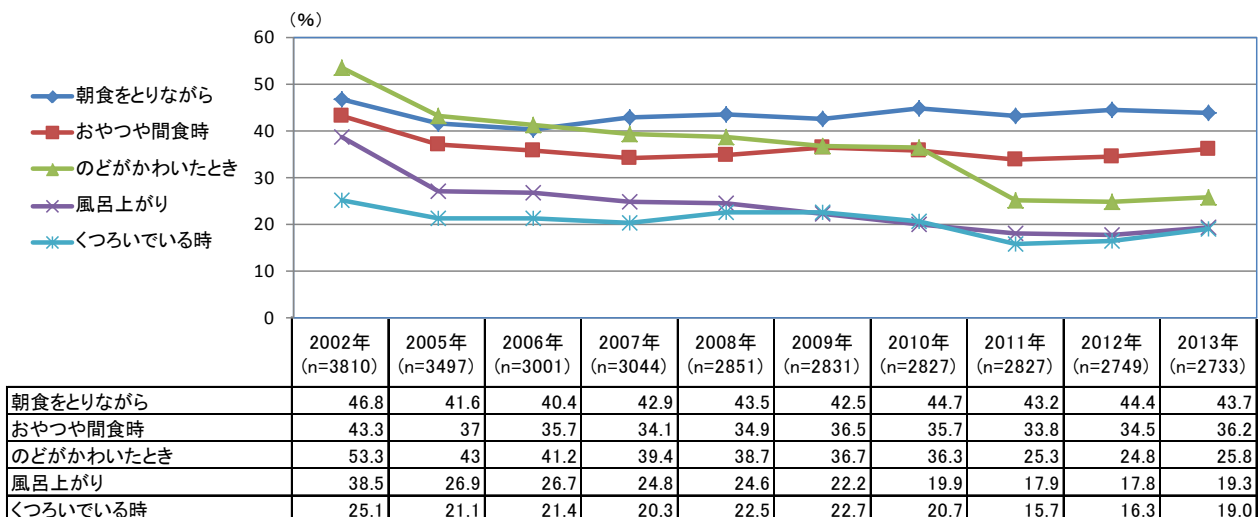
～カルシウム関連以外に、「美肌」等の美容面の訴求、「他の食品との相乗効果」も消費拡大に有効～

- 2004年以降、中学生以上の日本人の白もの牛乳類の飲用量・飲用機会は、低下の傾向が続いています。人口減少の予測から、牛乳・乳製品市場も縮小の影響が続くものと考えられます。
- 白もの牛乳類の飲用シーンや飲用理由の変化を見ると、朝食とおやつや間食時が主なシーンであることは変わりませんが、「止渴」「風呂上り」といったシーンでの飲用、および、「カルシウムを補給」「栄養を補給」「健康に良い」といった役割が、弱くなっていることがうかがえます。
- 牛乳・乳製品関連の消費拡大には、美味しさや様々な料理に使えるといった長所(他のものと混ぜたりする)、あるいは、牛乳が本来持つ健康・美容面での良さを改めて訴求することが大切だと思われます。また、多様化した食生活を鑑みると、単にそのまま牛乳を飲むのではなく、他の食品等と一緒に飲むといった、新しい飲用スタイルを提案する等で、牛乳・乳製品を摂る機会を増やすことも有効だと思われます。その他、男性にはボリューム感、女性には少量・高頻度を訴求した商品開発も考えられる
- なお、牛乳の世界的な消費動向(2000年～2009年)を見てみると、人口一人1日当たりの供給量は、全世界では増加の傾向にあります。日本では減少傾向にあるようです。

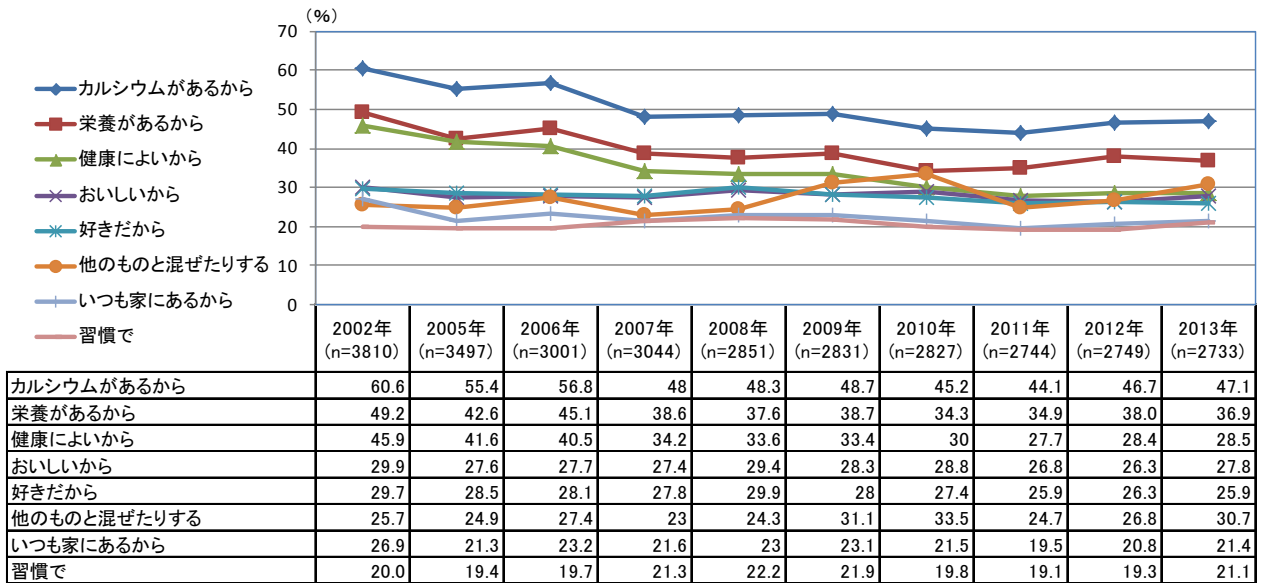
【図表 IX-1】 白もの牛乳類を「毎日飲む」飲用者率と1人1日あたりの飲用量(中学生以上)



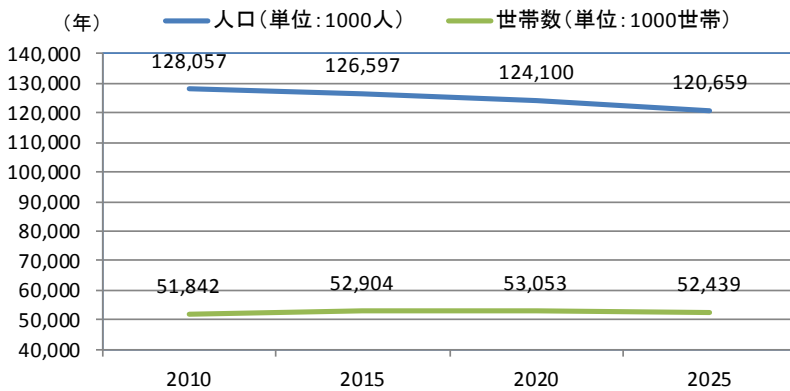
【図表 IX-2】 時系列 問5 白もの牛乳類の飲用シーン(MA) <飲用者ベース>



【図表 IX-3】 時系列 問6 白もの牛乳を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



【図表IX-4】 我が国の将来人口・世帯数予測



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」
「日本の世帯数の将来推計(平成25年1月推計)」

【図表IX-5】 世界の人口1人1日あたりの Milk (Whole) 供給量

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	日本を100とした場合(%)
Japan	136.32	136.60	136.22	138.15	136.39	133.14	131.04	132.57	134.00	127.00	100.0
World + (Total)	122.79	124.26	121.48	124.14	127.99	130.13	131.99	137.29	137.00	139.00	109.4
Europe + (Total)	260.18	258.05	256.62	254.25	256.76	260.98	247.71	254.62	245.00	250.00	196.9
European Union + (Total)	228.05	223.71	232.75	224.09	225.35	221.60	212.02	213.83	214.00	208.00	163.8
Americas + (Total)	265.75	276.97	259.89	259.49	269.30	262.84	262.49	280.04	267.00	270.00	212.6
Asia + (Total)	74.31	74.46	74.23	79.14	83.36	87.97	93.06	96.49	99.00	101.00	79.5
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	89.46	90.81	92.55	94.45	93.71	93.42	99.29	101.93	117.00	118.00	92.9

※項目: Food supply quantity (単位: grams/capita/day) ※出典: FAOSTAT | © FAO Statistics Division

調査票

牛乳・乳製品の消費に関するアンケート

■ご記入にあたって■

- 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に（1つだけ○印）とあれば「1つだけ」、（いくつでも○印）とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
- 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ほとんどの質問が回答を選んでいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
- 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印（→）や【 】の指示に従ってお進みください。

■白もの牛乳類（注）についてお聞きします。■

（注）ここでいう白もの牛乳類とは、生乳100%の普通の牛乳や、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒータン牛乳やフルーツ牛乳などは含まれません。

【全ての方に】

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒータン、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル（オートミール、コーンフレーク等）にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。
ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。（1つだけ○印）

- | | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 毎日飲む | 2. 週に5～6日飲む | 3. 週に3～4日飲む | 4. 週に1～2日飲む | 5. 月に2～3日飲む |
| 6. それ以下しか飲まない | 7. 全く飲まない | | | |

■白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします。■

【全ての方に】

問2 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。
コーヒータンなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。
ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含まれます。

	そのまま飲む						
	毎日飲む	5週以内に 6日飲む	3週以内に 4日飲む	1週以内に 2日飲む	2月以内に 3日飲む	飲まれない 以下しか	全く飲まない
（それぞれ1つずつ○印）							
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

【全ての方に】

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒータン、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

	他のものと混ぜて飲む						
	毎日飲む	5週以内に 6日飲む	3週以内に 4日飲む	1週以内に 2日飲む	2月以内に 3日飲む	飲まれない 以下しか	全く飲まない
（それぞれ1つずつ○印）							
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

白もの牛乳類を全く飲まない方（問1で「7」とお答えの方）は、問7にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。夏場、冬場、年間平均でお知らせください。コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

	1日に白もの牛乳類を飲む量							
	50 ml 未 満	50 ml く ら い	100 ml (牛 乳 ビ ン 半 分)	200 ml (牛 乳 ビ ン 1 本)	400 ml (牛 乳 ビ ン 2 本)	600 ml (牛 乳 ビ ン 3 本)	800 ml (牛 乳 ビ ン 4 本)	1 ℓ (牛 乳 ビ ン 5 本) 以 上
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7	8
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7	8

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問5 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。(いくつでも○印)

1. 朝、起きぬげに	7. おやつや、間食時	13. 勉強や仕事をしながら
2. 朝食をとりながら	8. 夜食時	14. レジャーやスポーツ時
3. 朝食後	9. 風呂上り	15. くつろいでいる時
4. 朝食代わりに	10. 夜寝る前	16. 乗り物での移動中
5. 昼食時	11. のどが渇いた時	17. 来客時
6. 夕食時	12. ちょっとおなかはずいた時	18. その他()

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問6 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1. おいしいから	12. 良質のタンパク質があるから
2. 好きだから	13. 美容によいから
3. 栄養があるから	14. 便秘に効果があるから
4. カルシウムがあるから	15. 健康によいから
5. 朝食など食事代わりに	16. ぐっすり眠るために
6. 水などの代わりに	17. 気持ちをリラックスさせるために
7. 他のものと混ぜたり、他のものにかけてりするため	18. 背が高くなりたいから
8. 習慣で	19. 医師など医療関係者がすすめるから
9. いつも家にあるから	20. 他の飲み物に比べて安いから
10. 家族がすすめるから	21. その他()
11. 骨粗しょう症が心配だから	

■■■この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問7 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(ア)そのまま飲む場合、(イ)混ぜて飲む場合、(ウ)全体では、それぞれについてお知らせください。

	非飲 むに 量 増 え た	や飲 む 増 え が た	変 わ ら な い	や飲 む 減 量 つ が た	非飲 むに 量 減 が つ た	飲こ まの な1 く年 な位 つで た全 く	飲牛 ま乳 ない も と も と
	ア) そのまま飲む場合	1	2	3	4	5	6
イ) 混ぜて飲む場合	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 全体では	1	2	3	4	5	6	7

問7の(ウ)で「1」「2」「3」とお答えの方
全体では「飲む量が非常に増えた」「飲む量がやや増えた」「変わらない」方
⇒問9へ
問7の(ウ)で「4」「5」「6」「7」とお答えの方
全体では「飲む量がやや減った」「飲む量が非常に減った」「この1年くらいで全く飲まなくなった」「牛乳はもともと飲まない」方
⇒問8へ

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方（問7の(ウ)で4、5、6、7」とお答えの方)に】

問8 次のア)～ソ)のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

		あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	あてはまらない
ア)	牛乳は味にクセがあるから	1	2	3	4	5
イ)	牛乳のニオイが嫌いだから	1	2	3	4	5
ウ)	牛乳は飲んだあと口に残るから	1	2	3	4	5
エ)	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなるから	1	2	3	4	5
オ)	牛乳を飲むと太ると思うから	1	2	3	4	5
カ)	牛乳はコレステロールが気になるから	1	2	3	4	5
キ)	牛乳は日持ちしないから	1	2	3	4	5
ク)	牛乳は持ち歩けないから	1	2	3	4	5
ケ)	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がないから	1	2	3	4	5
コ)	飲みたい牛乳がないから	1	2	3	4	5
サ)	牛乳が体によくないという情報を本などで得たから	1	2	3	4	5
シ)	医者に言われたから	1	2	3	4	5
ス)	牛乳アレルギーがあるから	1	2	3	4	5
セ)	不景気の影響で牛乳を買い控えるようになったから	1	2	3	4	5
ソ)	いつもの年より夏が暑かったから	1	2	3	4	5

【全ての方に】

問9 あなたは、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思いますか。「1 とても飲みたい」から「5 全く飲みたいくない」までの数字の中から1つお選び下さい。(1つだけ○印)

1. とても飲みたい	2. まあ飲みたい	3. どちらともいえない	4. あまり飲みたいくない	5. 全く飲みたいくない
------------	-----------	--------------	---------------	--------------

■■■白もの牛乳類の購入についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問10 お宅では、ふだん白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。(1つだけ○印)

1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回位	3. 週に1回位	4. 2週間に1回位	5. 月に1回位
6. ほとんど買わない	7. わからない			

【全ての方に】

問11 お宅では、平均すると1週間に白もの牛乳類をどのくらい購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。
下記の記入例に従い、リットルを単位として小数点以下1位までお答えください。なお、白もの牛乳類を全く買わない場合は「0」とお書きください。わからない場合は、「*わからない」をお選びください。

<記入例>

1週間に1リットルパックを2本と200ml瓶を3本買っている場合(100mlは0.1リットルです)

約 . リットル

1週間に購入する量の合計 → 約 . リットル

*わからない

【全ての方に】

問12 お宅では、ふだんどなたが白もの牛乳類を購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。
(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他()
-----------	------------------	-----------

⇒ 「1 自分(本人)」を選んだ方は問13へ

⇒ 「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問16へ

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問13 では、この1年くらいの間に、あなたの白もの牛乳の「買い方」は変わりましたか。(1つだけ○印)

1. 購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	4. 牛乳以外の飲み物を購入し、代用するようになった
2. 牛乳を購入する頻度を減らした	5. これまでと変わらない
3. 1回に購入する牛乳の量を減らした	6. いずれもあてはまらない

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問14 あなたがふだん主に購入している白もの牛乳は、次のどれですか。(1つだけ○印)

1. 生乳100%の普通の牛乳	⇒問16へ	2. 成分調整牛乳	⇒問15へ
3. 低脂肪牛乳	⇒問15へ	4. その他の白もの牛乳	⇒問16へ

【問14で「2 成分調整牛乳」または「3 低脂肪牛乳」とお答えの方に】

問15 あなたはどのような理由で成分調整牛乳または低脂肪牛乳を購入していますか。
次のア)~エ)のそれぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

		あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あてはまりません	あてはまらない
		1	2	3	4	5
ア)	普通牛乳よりも価格が安いので	1	2	3	4	5
イ)	味が普通牛乳よりも好きなので	1	2	3	4	5
ウ)	普通牛乳より脂肪分が少なく体に良さそうなので	1	2	3	4	5
エ)	値段の割には普通牛乳と変わらないので	1	2	3	4	5

【全ての方に】

問16-1 平成25年10月から、牛乳販売価格が値上げになったことを知っていますか。(1つだけ○印)

1. 値上げとその理由を知っている	2. 値上げを知っているが、その理由は知らない	3. 値上げを知らない
-------------------	-------------------------	-------------

※値上げの背景

昨年の米国における大干ばつによるトウモロコン価格の高騰に加え、年末から急速に進行した円安の影響により配合飼料価格など生乳生産に係るコストが上昇し、酪農家の経営が悪化しています。

このため、今年7月、10月出荷分から乳業メーカーが酪農家に支払う飲用牛乳向け乳価が引き上げられるとともに、10月から牛乳販売価格が引き上げられることが決定しました。

問16-2 牛乳販売価格が値上げになった場合、購入しますか(1リットルパックの場合。1つだけ○印)

1. 1~5円の値上げまでならこれまでどおり購入する	4. 16~20円の値上げまでならこれまでどおり購入する
2. 6~10円の値上げまでならこれまでどおり購入する	5. 値上げ幅(21円以上の値上げ)にかかわらずこれまでどおり購入する
3. 11~15円の値上げまでならこれまでどおり購入する	6. 値上げ幅にかかわらず購入を控えるか購入をやめる

■■■ふだんよく飲む飲み物についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問17 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)

問18 では、あなたは、問17でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印)

		問17 ふだんよく飲む (いくつでも ○印)	問18 最もよく飲む (1つだけ○印)
ア)	白もの牛乳類	1	1
イ)	色もの乳飲料(いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ミルクココアなど)	2	2
ウ)	ドリンクヨーグルト	3	3
エ)	乳酸菌飲料(ヤクルトなど)	4	4
オ)	果汁飲料	5	5
カ)	野菜ジュース	6	6
キ)	豆乳	7	7
ク)	炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)	8	8
ケ)	コーヒー(コーヒー飲料も含む)	9	9
コ)	紅茶(紅茶飲料も含む)	10	10
サ)	無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	11	11
シ)	スポーツ飲料(ポカリスエットなど)	12	12
ス)	栄養・機能性飲料(アミノ式・アミノサプリなど)	13	13
セ)	ミネラルウォーター	14	14
ソ)	この中にはない	15	-

■■■牛乳を使った料理(デザートやお菓子を含む)についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問19 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理(デザートやお菓子を含む)をしましたか。(1つだけ○印)

1. した ⇒問19-1へ	2. しなかった ⇒問20へ
---------------	----------------

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問19-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回
------------------------	---	----------------------	----------------------	---

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問19-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. シチュー	5. オムレツ、オムライス	9. ケーキ	13. プリン
2. スープ、ポタージュ	6. ハンバーグ	10. パン	14.ゼリー
3. グラタン	7. フレンチトースト	11. 手作りヨーグルト	15. 杏仁豆腐
4. カレー	8. ホットケーキ	12. 牛乳寒天	16. その他()

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問19-3 この1ヶ月間にあなたが料理(デザートやお菓子を含む)に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。(1つだけ○印)

1. 小さじ1杯くらい(5ml)	2. 大さじ1杯(15ml)	3. 4分の1カップ(50ml)	4. 2分の1カップ(100ml)
5. 1カップ(200ml)	6. 2カップ(400ml)	7. 500ml	8. 1ℓ以上

■■■ヨーグルトについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問20 あなたは、日頃どの程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。(1つだけ○印)

1. 毎日食べる/飲む	2. 週に5~6日食べる/飲む	3. 週に3~4日食べる/飲む
4. 週に1~2日食べる/飲む	5. 月に2~3日食べる/飲む	6. それ以下しか食べない/飲まない
7. 全く食べない/飲まない ⇒問23へ		

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問20で「1~6」とお答えの方)に】

問21 あなたが、ヨーグルトを食べる(飲む)ときは、1日に合計でどのくらいの量(食べる量+飲む量)になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。(1つだけ○印)

1. 50g未満	2. 50gくらい	3. 100gくらい	4. 150gくらい	5. 200gくらい
6. 250gくらい	7. 300gくらい	8. 400g以上		

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問20で「1~6」とお答えの方)に】

問22 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。(いくつでも○印)

1. プレーンヨーグルト(無糖)	4. ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	7. その他()
2. 加糖のヨーグルト	5. 手作りヨーグルト(カスピ海ヨーグルト等)	
3. 果肉フルーツ入りのヨーグルト	6. フローズンヨーグルト	

■■■チーズについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問23 あなたは、日頃どの程度チーズを食べていますか。(1つだけ○印)

1. 毎日食べる	2. 週に5~6日食べる	3. 週に3~4日食べる
4. 週に1~2日食べる	5. 月に2~3日食べる	6. それ以下しか食べない/飲まない
7. 全く食べない ⇒問25へ		

【チーズを食べる方(問22で「1~6」とお答えの方)に】

問24 あなたは、チーズを食べるときは、1日に合計でどのくらいの量になりますか。市販のスライスチーズ1枚が約20gです。(1つだけ○印)

1. 10g未満	2. 10gくらい	3. 20gくらい	4. 30gくらい	5. 40gくらい
6. 50gくらい	7. 60gくらい	8. 70g以上		

【全ての方に】

問25 あなたは、この1ヶ月間にチーズ料理を食べましたか。(1つだけ○印)

1. 食べた ⇒問25-1へ	2. 食べなかった ⇒問26へ
----------------	-----------------

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問25-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回
--------------------	---	----------------------	----------------------	---

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問25-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. ピザ	4. ハンバーグ	7. サラダ	10. ケーキ
2. グラタン	5. シチュー	8. サンドウィッチ	11. その他()
3. パスタ	6. カレー	9. パン	

【全ての方に】

問26 お宅では、ふだんあなたがチーズを購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他()
-----------	------------------	-----------

⇒「1 自分(本人)」を選んだ方は問27へ

⇒「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問30へ

【ご自分でチーズを購入する方(問26で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問27-1 あなたは、どのようなタイプのチーズを購入しますか。(いくつでも○印)

1. ブロックタイプ(固形)	4. ダイスチーズ(サイコロ状)	7. その他()
2. スライスチーズ(薄切りタイプ)	5. 粉チーズ	
3. シュレッドチーズ(細かく切ったタイプ)	6. クリームチーズ	

問27-2 あなたは、「ナチュラルチーズ」「プロセスチーズ」の違いについて、ご存じですか。(1つだけ○印)

※「ナチュラルチーズ」とは、加熱処理を加えず、チーズ中にある乳酸菌や酵素、熟成目的に添加したカビ等がそのまま残っているチーズです。一方、「プロセスチーズ」は、数種類のチーズを混合し、加熱溶解し、殺菌した後成型したものです。

- | | | |
|----------|--------------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 何となく知っている | 3. 知らなかった |
|----------|--------------|-----------|

【ご自分でチーズを購入する方(問26で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問28 あなたが購入するチーズは、ナチュラルチーズですか、プロセスチーズですか。(1つだけ○印)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. ほとんどナチュラルチーズ(8割以上) | 4. ほとんどプロセスチーズ(8割以上) |
| 2. ナチュラルチーズが多い(6~7割) | 5. プロセスチーズが多い(6~7割) |
| 3. 半々くらい | 6. わからない |

【ご自分でチーズを購入する方(問26で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問29 あなたは、普段チーズを購入する時にどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 国産のチーズを購入するようにしている | * その理由
() |
| 2. 外国産のチーズを購入するようにしている | |
| 3. 生産国は意識していない | |
| 4. その他() | |

⇒「1 国産のチーズを購入するようにしている」を選んだ方は問29-1へ

問29-1 あなたは、国産のチーズを購入するときどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 大手メーカーの製品を購入するようにしている | * その理由
() |
| 2. 小さな工房の製品を購入するようにしている | |
| 3. メーカーの規模は意識していない | |
| 4. その他() | |

■■■健康や食生活についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問30 次にあげる白もの牛乳類に関することがらについて、(1)、(2)にあてはまるものをすべてお答えください。

- (1) あなたが、この半年くらいの間に、テレビや新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたものはどれですか。(いくつでも○印)
 (2) あなたが、「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものはどれですか。(いくつでも○印)

		(1) この半年位の間に 見たり、聞いたり したもの (いくつでも○印)	(2) 「そういうよいこと があるなら飲んでも よい」と 思うもの (いくつでも○印)
ア) 牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	↓	1	1
イ) 牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める		2	2
ウ) 牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある		3	3
エ) 牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる		4	4
オ) 牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長の伸びを助ける		5	5
カ) 牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある		6	6
キ) 牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる		7	7
ク) 牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる		8	8
ケ) 牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ		9	9
コ) 牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある		10	10
サ) 牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい		11	11
シ) 牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている		12	12
ス) ひとつもない		13	13

■■■■あなたご自身についてお知らせください。統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。■■■■

【全ての方に】

F 1 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 年齢

	才
--	---

F 3 あなたは結婚されていますか。(1つだけ○印)

1. 未婚	2. 既婚	3. その他
-------	-------	--------

F 4 お子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1. いる	2. いない
-------	--------

F 5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

自営・家族従業 勤め	1. 農林漁業	2. 商工サービス業	3. 自由業	4. 内職
	5. 管理職	6. 専門・技術職	7. 事務職	8. 労務職
無職	9. 販売・サービス職	10. パート・アルバイト	11. 専業主婦	12. 中学生
	13. 高校生	14. 中高生以外の学生	15. 無職	

【学生および有職の方（F5で「1～3、5～10、12～14」とお答えの方）へ】

F 5-1 あなたの学校や職場では、給食や食堂がありますか。(1つだけ○印)

1. 給食がある	2. 給食はないが学校や職場の食堂を利用している	3. どちらもない
----------	--------------------------	-----------

【全ての方に】

F 6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1. 1人(ひとり暮らし)	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人	7. 7人以上
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

【同居している家族人数が2人以上の方（F6で「2～7」とお答えの方）に】

F 7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1. 料理をする	2. 食料品の買物をする	3. どちらもしていない
----------	--------------	--------------

【同居している家族人数が2人以上の方（F6で「2～7」とお答えの方）に】

F 8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。(1つだけ○印)

1. 夫婦2人	2. 二世帯世帯(親と子)	3. 三世帯世帯(親、子、孫)	4. その他()
---------	---------------	-----------------	-----------

【F8で「2、3、4」とお答えの方に】

F 9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものをいくつでもお答えください。※ご本人は含めません。(いくつでも○印)

1. 乳児・幼児	2. 小学生	3. 中学生	4. 高校生	5. 大学・短大・専門学校生
6. この中にはいない				

アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

【調査員記入欄】

エリア	都道府県名	市区町村名
1. 北海道 2. 東北 3. 関東・甲信 4. 東海 5. 北陸	6. 近畿 7. 中国 8. 四国 9. 九州	都道府県

調査実施(依頼)日	月 日
-----------	-----

担当調査員(カタカナ)	
-------------	--